



続きの保証

報告者: 福丸直宏
2024年12月16日

「子ども主体」に「共主体」「遊びの中にある学び」様々な言葉が保育を行う私たちの周りには溢れていて、そのどれもが「子どもたちの遊び」が豊かであるためには？という問いと密接に関係しているように感じています。

「子どもたちの遊び」が豊かであるために私たちが大切にしていること。それは遊びの「続きの保証」です。

子どもたちが日常的に「いいとこだったのに・・・」「・・・もう片付け？」という経験を繰り返していくといつか、「どうせ片付けるし・・・」という思いから、遊びが深まり辛くなっていきます。それにより、遊びの中での学びや、主体的に考えて行動する力を獲得できなくなる。そのための「続きの保証」です。





棚の上は展示スペース

最近は何のクラスでも子どもたちの遊びの続きが保証できるスペースや作品を展示する場所が確保されています。クラスにお邪魔すると「先生見て！これは僕一人で作ってて、机なんだけどね・・・」とこだわりポイントなど作品の紹介をしてくれます。

こだわって作るには時間が必要です。そのための続きの保証。時間も場所も大切です。そうすることで、自分のこだわりや作品に自信を持ち、自分の言葉で堂々と表現してくれる姿が見られると思うんです。

